

現代社会の教育問題について考える

Index

- I. この授業のキーワード
- II. テーマの概要をつかむ
授業では、以下の3つのテーマについて、調査、考察、プレゼンをします。まずは、テーマの概要をつかみましょう
- III. 問いの立て方
研究とはどんなものなのかイメージを作り、研究計画を立てましょう。
- IV. データでみる日本の教育問題
さまざまな調査データから、現代の日本の教育問題の特徴をとらえます。
- V. 文献レビュー: 図書を探す
教育に関する文献(図書)を探してみましょう。
- VI. 文献レビュー: 論文・記事を探す
教育に関する論文や新聞記事を探してみましょう。
- VII. レポート・発表の準備をしよう
研究して得た成果は、発表して共有することが重要です。理解してもらえる論文や発表を作るコツを学びます。
- VIII. 関連ウェブサイト
インターネット上にも、有益な情報がたくさんあります。

2010/基セミAB/担当教員: 松田武雄

1.この授業のキーワード

たとえば以下のようなことばを使って、本や文献を探すなど調査に取り組めます。

関連することばや自分のテーマに関することばを見つけて、調査を深めてください。

キーワード	学力(問題)、学力低下、ゆとり教育、 核家族化、家庭環境、教師
-------	------------------------------------

2. テーマの概要をつかむ

授業では、以下の**3**つのテーマについて、調査、考察、プレゼンをします。まずは、テーマの概要をつかみましょう

テーマ

① 意識・主体

学習意欲の低下、主体的な教育(学校教育)

② 学校における教育環境

学力低下、ゆとり教育、教師をとりまく環境

③ 学校外における教育環境

核家族化、貧困、塾産業etc.

参考図書を読む

テーマを考えるうえで参考となる図書を読んでみましょう。



タイトル これからの「正義」の話をしよう：いまを生き延びるための哲学
著者名 マイケル・サンデル

図書(の章節)



タイトル 学力低下論争
著者名 市川伸一Ⅰ著, 市川Ⅱ伸一



タイトル なぜ教育論争は不毛なのか：学力論争を超えて
著者名 荻谷剛彦Ⅰ著, 荻谷Ⅱ剛彦

広く読書する

大学生になったら広く読書をしてほしいものです。良書を選ぶことは難しいので、このような本で紹介されているものから選ぶのもよいでしょう。



タイトル 打たれ強くなるための読書術
著者名 東郷雄二Ⅱ 著, 東郷Ⅱ 雄二 (1951-)

3. 問いの立て方

研究とはどんなものなのかイメージを作り、研究計画を立てましょう。

研究・発表に関する本を読む

初めて研究を始める前に、論文やプレゼンテーションの基本的な進め方やルールを確認してみましょう。

おすすめ図書

『知的複眼思考法』： 大学で求められる考え方がわかりやすく書かれています。早めに読んで大学での学びに慣れましょう。

『論文の教室』： 論文の書き方がわかりやすく書かれています。大学で求められる論文は高校の小論文とは異なります。本授業でレポートを書くときの参考にしてください。



タイトル 知的複眼思考法

著者名 荻谷剛彦Ⅰ著, 荻谷Ⅰ剛彦(1955-)

ひとこと紹介 中央学3F 141.5||Ka
(文庫版もあり)



タイトル 論文の教室：レポートから卒論まで

著者名 戸田山和久Ⅰ著

情報科学研究科戸田山教授によるレポート執筆指南書。

ひとこと紹介 名大の授業で参考書として紹介されることも多い、読みやすい解説書です。
中央学3F 816.5||Tほか学内に多数所蔵があります。

図書(の章節)

関連する図書

ほかにも関連図書がたくさんあります。中央図書館や学部・学科等の図書室で、以下の請求記号の周辺を見てください。

請求記号	分類	内容例
002.7	研究法、調査法	研究の進め方全般、情報の集め方、プレゼンテーション方法
361.9	社会調査	インタビュー調査
377.15	高等教育 教育課程、講座、教育理論・教授法	大学での学び、教育、授業
809.5	インタビュー法	
816.5	論文	レポート・論文の書き方、論文作法



タイトル インタビュー調査への招待
著者名 河西宏祐Ⅰ著, 河西Ⅰ宏祐
ひとこと 中央学361.9ⅡKa、中央図361.9ⅡKa、国際開発にもあります。
紹介



タイトル グループ・インタビューの技法
著者名 S. ヴォーン, J. S. シューム, J. シナグブ 著, 井下理 監訳, 田部井潤, 柴原宜幸
訳, Vaughn, Sharon(1952ー), Schumm, Jeanne Shay(1947ー), Sinagub, Jane
M., 井下 理, 田部井 潤(1961ー), 柴原 宜幸(1960ー)



タイトル アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技法入門
著者名 佐藤望Ⅰ編著, 湯川武, 横山千晶, 近藤明彦Ⅰ[著]
大学における「問い」の発見、文献の探し方・読み方、情報の整理の仕方、文章・プレゼンテー
ションでの発表の仕方などをコンパクトに解説。
ひとこと 中央学3F 377.15ⅡSa
紹介 教育和書 377.15ⅡSat
農学生図書 377.15ⅡSa
等にあります。



タイトル 自己表現力の教室：大学で教える「話し方」「書き方」
著者名 荒木晶子, 向後千春, 筒井洋一Ⅰ著
会話・スピーチ・研究発表などでの「話し方」、文章の「書き方」の基本と実践を、見開きの記事
でわかりやすくまとめています。
ひとこと 中央参(ライティング関連図書) 809.4ⅡA
紹介 情報・言語 809.2ⅡA
にあります。



タイトル 知へのステップ：大学生からのスタディ・スキルズ
著者名 学習技術研究会Ⅰ編著
ノートの取り方、テキストの読み方、文献の探し方、レポートのまとめ方、ワープロソフトの使い
方などを解説。
ひとこと ソフトの操作など具体的で実践的なアドバイスが多数。
紹介 中央参(ライティング関連図書)002.7ⅡG
にあります。

4. データでみる日本の教育問題

さまざまな調査データから、現代の日本の教育問題の特徴をとらえます。

各種データから問題意識を高める

学校教育に関するデータを見て、問題点を考えます。

おすすめデータ集

『学校の世界地図』：教育に関するデータの国際比較が世界地図上で読みやすくまとまっています。日本の教育の特徴を考えるきっかけになるでしょう。



タイトル 学校の世界地図
著者名 藤田千枝編, 小川真理子著, 藤田千枝(1931-), 小川真理子(1948-)
ひとこと紹介 愛知県図書館、名古屋市図書館等にあり。

統計数値を調べる

研究の基礎となる数値やデータは、発信元(政府・自治体・研究機関 等)、時期(明記されているか、最新かどうか)を確認し、信頼できる情報を集めるようにしましょう。



インター
ネット・DB

タイトル 白書(年次報告書)

リンク先
URL <http://www.kantei.go.jp/jp/hakusyo/>

ひとこと
紹介

日本の省庁が発行する白書の本文PDF版(無料公開)へのリンクがあります。白書とは、中央省庁が編集する政府刊行物で、政治経済社会の実態及び政府の施策の現状について国民に周知させることを主眼とするもの。現況や政策などがデータを交えて分かりやすく説明されています。



インター
ネット・DB

タイトル e-Stat (政府統計の総合窓口)

著者名 独立行政法人・統計センター

リンク先
URL <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>

ひとこと
紹介

政府統計のポータルサイト。各府省等が登録した統計データ、公表予定、新着情報、調査票項目情報などの各種統計情報をインターネットを通して利用できます。



タイトル 厚生労働白書
 著者名 厚生労働省 監修, 厚生労働省
 リンク先**URL** <http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/index.html>
 ひとこと紹介 中央参白 498.1||Ko
 教育参考 498.1||Kos
 経研セ 369.1||Ko83
 医分館 498.1||Ko
 などにあります。
 平成16年以降のものは、厚生労働省のサイト上でも読むことができます。



タイトル 国民生活白書
 リンク先**URL** <http://www5.cao.go.jp/seikatsu/whitepaper/index.html>
 ひとこと紹介 中央参白365.5||Ke、経研セ、教育参考、法、文・社会にあります。



タイトル 文部科学白書
 著者名 文部科学省 編, 文部科学省
 リンク先**URL** http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/hakusho.htm

図書(の章節)

5. 文献レビュー: 図書を探す

教育に関する文献(図書)を探してみましょう。

図書館の棚を見て探す

図書館の図書は分類番号順に並んでいて、似たテーマの図書は近い位置にあります。直接棚を見て本を探しましょう。

分類番号	分野
370	教育・・・373:教育政策・教育制度・教育行財政、374:学校経営・管理、375:教育課程・学習指導 など
360	社会・・・367:家族問題

参考: 日本十進分類表 http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide_c/guide/ndc.html

名古屋大学にある図書を**OPAC**で探す

オンライン目録(OPAC)で、名古屋大学の蔵書を調べることができます。
「キーワード」を入力して検索してみましょう。

OPAC: <http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac>

調べ方がわからない時は、ガイドシートリスト(OPACやデータベースの使い方)があります。
<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/gsheets/index.html>

国内で刊行されている図書を探す

以下のサイトで、国内の大学・研究機関・公共図書館等にある図書を検索できます。

名古屋大学で所蔵していない図書は、取り寄せて借りることもできます。
お申込みは、所属の図書館・室(公共図書館の場合は中央図書館へ)。
<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/ILLplace.html>



インターネット・
DB

タイトル Webcat Plus

リンク先
URL <http://webcatplus.nii.ac.jp/>

ひとこと
紹介 全国の1,000以上の大学図書館等が所蔵する図書や、新刊書の情報を、内容・目次データから検索できます。
また関連ワードが表示されるので、検索しながらキーワードを検討できます。



インターネット・
DB

タイトル 国立国会図書館 NDL-OPAC
リンク先 <https://66ndlopac.ndl.go.jp6> URL
URL

国立国会図書館(NDL) が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベースです。
 (国内で発行されたすべての出版物は、NDLに納入することが義務づけられています。そのためNDLは、国内の刊行物についてのデータを豊富に持っています)
 ○図書や雑誌の検索 →「一般資料の検索/申込み」をクリック
 ○雑誌に載った論文を検索 →「雑誌記事索引の検索/申込み」をクリック



タイトル 愛蔵くん(愛知県内図書館 横断検索)

リンク先 URL http://www.aichi-pref-library.jp/oudan/aichi_oudan_f.htm

インターネット・DB ひとつこと 愛知県内の市町村立図書館等の所蔵を一括検索できます。大学図書館よりも、より平易な一般書の所蔵が多くなっています。

図書の参考文献(引用文献)から関連図書を探す

テーマに合った図書が見つかったら、図書の章末や巻末に掲載されている参考文献などから、更に関連図書を探してみましょう(チェイニング: 芋づる式探索)。

参考: ガイドシートリスト<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/gsheets/index.html> > 文献リストのみかた

6.文献レビュー:論文・記事を探す

教育に関する論文や新聞記事を探してみましょう。

日本語の論文を探す

授業のキーワードや自分のテーマを表すことばを使って、論文を探してみましょう。



インターネット
DB

タイトル CiNii Articles(サイニイ) (一部の本文は学内限定)

著者名 国立情報学研究所

リンク先 URL <http://ci.nii.ac.jp/>

ひとつこと 国内で刊行された雑誌記事を探することができます(主に学術雑誌・大学紀要・学会誌)。一
紹介 部の雑誌については、論文全文をダウンロードし閲覧することができます。NULinkが利用
できます。

読みたい記事が見つかったら、その掲載雑誌をOPACで検索し、名古屋大学にあるかどうかを調べます。
(OPAC:<http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac>)

名古屋大学で所蔵していない図書は、取り寄せて借りることもできます。
お申込みは、所属の図書館・室(公共図書館の場合は中央図書館へ)。
(<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/ILLplace.html>)

新聞記事を探す

社会的な動きの最新情報などを、新聞記事で探してみましょう。



新聞(記事)

タイトル 切抜き速報. 教育版

著者名 ニホンミツク

各新聞社から配信される報道記事を、分野ごとに再構成した専門誌。

ひとつこと 教育和雑誌 1995-最新
紹介 中央雑 1975-1995(欠あり)
などにあります。



インターネット
DB

タイトル 聞蔵IIビジュアル

リンク先 URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbetc.html#KIKUZO2>

朝日新聞のオンライン記事データベースです。創刊(1879年)からの記事を検索できます。
AERA(1998年5月(創刊号)-)、週刊朝日(2000年4月-ニュース面)、現代用語「知恵蔵」最
新版も検索できます。
学内限定です(同時利用可能ユーザー数は1名)。必ず、[ログアウト]ボタンで終わってくだ
さい。



タイトル 日経テレコン21

リンク先 http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db_details.html#NK21

URL

ひとこと
紹介

日経4紙『日本経済新聞』、『日経産業新聞』、『日経流通新聞MJ』、『日経金融新聞』の全文記事データベース。

学内限定、同時アクセス数は2名です。終了したら必ず[ログアウト]で終わってください。



インターネット・
DB

タイトル 中日新聞・東京新聞記事データベース

リンク先 http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db_details.html#CHU

URL

ひとこと
紹介

中部地方の情報をくまなくカバーする中日新聞(1987～)のデータベース。

学内限定、同時アクセス数は1名です。終了したら必ず[ログアウト]ボタンを押してください。

7. レポート・発表の準備をしよう

研究して得た成果は、発表して共有することが重要です。理解してもらえる論文や発表を作るコツを学びます。

レポート・論文をまとめる

大学ではレポートを書く機会も多く、いずれは卒業論文など本格的な論文に取り組むことになります。

文章の書き方や学術論文におけるルールを確認しましょう。



図書(の章節)

タイトル	論文の教室：レポートから卒論まで
著者名	戸田山和久Ⅰ著
ひとこと紹介	情報科学研究科戸田山教授によるレポート執筆指南書。 名大の授業で参考書として紹介されることも多い、読みやすい解説書です。 中央学3F 816.5 Tほか学内に多数所蔵があります。



図書(の章節)

タイトル	勝つための論文の書き方
著者名	鹿島茂Ⅰ著
ひとこと紹介	問いの立て方など、論文を書く手順を読みやすい構成で解説。 中央学S 816.5 Ka 国際開発

効果的なプレゼンテーションをする

ゼミ発表などのプレゼンテーションは、研究成果を共有したり意見を出し合ったりする機会です。

スライドの作り方や話し方のコツを知って、人に伝わる発表を目指しましょう。



タイトル	ゼミ発表、論文プレゼンに使うPowerPoint活用法：PowerPointを使った効果的なプレゼン手法を伝授
著者名	尾崎公治Ⅰ著, 尾崎Ⅰ公治
ひとこと紹介	<所蔵場所、請求記号> 中央学3F、007.63 O



タイトル	学生・研究者のための使える！ PowerPointスライドデザイン：伝わるプレゼン1つの原理と3つの技術
著者名	宮野公樹 著, 宮野 公樹
ひとこと紹介	<所蔵場所、請求記号> ・中央学3F、007.63 Mi ・農学生図書、007.63 Mi

論文・発表に関するビデオ教材

ビデオ・DVDなど映像で学ぶことのできる教材もあります。



視聴覚資料

タイトル 情報の達人. 第2巻 ゼミ発表をしよう！テーマ選びからプレゼンテーションまで
著者名 仁上幸治, 野末俊比古Ⅱ監修
ひとこと紹介 中央AV D-146
にあります。



視聴覚資料

タイトル 情報の達人. 第3巻 レポート・論文を書こう！誰にでも書ける10のステップ
著者名 仁上幸治, 野末俊比古Ⅱ監修
ひとこと紹介 中央AV D-147
にあります。

8. 関連ウェブサイト

インターネット上にも、有益な情報がたくさんあります。

文部科学省

教育行政に関する公式情報はこちら。統計・白書も公開されています。

<http://www.mext.go.jp/>

ベネッセ教育研究開発センター

子どもや教育に関連したさまざまな独自調査の報告書、調査データなどを公開しています。

<http://benesse.jp/berd/>

E-Topia: パスファインダー (東京学芸大学)

教員、教員を目指す学生、教育研究者など教育に関わる方に役立つWeb情報のほか、テーマに関連する図書等を紹介した「情報の道案内」です。

E-TOPIA : 東京学芸大学附属図書館が運営する教育情報のポータルサイト

https://library.u-gakugei.ac.jp/etopia/index_p.html

インターネット情報を研究に使う

紹介した他にも様々なサイトがあります。見つかった情報は、以下のポイントを見て信頼性を確認しましょう。

- 情報の作成者・連絡先が明記されているか
- 情報源や根拠が明記されているか
- 更新され、最新の情報になっているか

また、複数の視点・立場で書かれた情報を見比べて吟味することも必要です。

代表的な検索エンジン

Google (<http://www.google.co.jp/>)

Yahoo! (<http://www.yahoo.co.jp/>)